



令和7年度 朝日町立西五百川小学校だより

ポ プ ラ



第7号 令和7年11月14日

校長 清野 雅紀

地域に学び、地域とともに育つ西五百川子ども

西五百川地域の皆様には、いつも西五百川小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校は、地域の皆様に支えられながら、「地域とともにある学校」として日々の教育活動を進めています。今年度は、松程地区集落営農組合の方々のご協力をいただき、5・6年児童が米作り体験に取り組みました。種まき、田植え、稲刈り、脱穀と、一連の作業を通して、子どもたちは自然の恵みや農作業の大変さ、そして収穫の喜びを肌で感じることができました。

前年度には、能中の さんのご指導のもと、3・4年児童がりんご作り体験もさせていただきました。花が咲き、実が赤く色づいていく過程を見守る中で、子どもたちは「育てる」ことの尊さや、朝日町特産のりんごへの関心を深めることができました。

このように、地域の皆様の温かい支えがあってこそ、子どもたちは教室の外でも多くの学びと成長の機会を得ています。地域の方々が惜しみなく知識や経験を分けてくださることに、心より感謝申し上げます。

これからも、学校と地域が力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を支え合っていけるよう努めてまいります。どうぞ今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。



4/24 種まき



5/23 田植え



9/12 稲刈り



9/19 脱穀

第2回 学校運営協議会の報告

10月23日(木)に、第2回西五百川小学校運営協議会を行いました。

はじめに、委員の皆さんに、子どもたちの授業の様子を参観していただきました。1・2年と3・4年は、複式授業です。一方の学年に教師が直接指導しないときでも、自分たちで授業を進めている様子を見ていただきました。また、5・6年は外国語科(英語)の授業で、英語を聞き取って、英語で答える様子などを見ていただきました。子どもたちが英語に慣れ、英語で抵抗なく応答している様子にお褒めの言葉をいただきました。(小学校の外国語の学習は、全国一斉に平成23年度に5・6年生が「外国語活動」として必修となりました。その後、令和2年度から制度変更され、5・6年生が「外国語科」として週に2時間、3・4年生が「外国語活動」として週1時間、必修化されています。)



その後、話し合いを行いました。はじめに、学校ホームページを紹介しながら、2学期の学校の様子を紹介しました。次に 会長に座長をお願いし、熟議を進めました。そこで話し合われたことを簡単に紹介します。

(1)西五百川小学校の閉校について

義務教育学校の設計会社が佐藤総合計画と決定しました。今後は町民向けのワークショップも計画しています。町内小・中学校は令和10年度末で閉校となるため、各校を訪問して、寄贈品などを見て回り、文化的価値などを判定しています。

今後は、閉校に向けて式典や記念事業などソフト面についても考える必要があります。西部地区には、区長会、学校、公民館、商工会、りんご部会など様々な人で構成されている西部振興協議会という組織があります。たくさんの方が関わり事業が進められるよう、閉校式典は西部振興協議会で進めてはどうかと思い、実際に進めております。

今年度閉校する飯豊町立手ノ子小学校では、11/15に町主体で閉校記念式典を行い、同日「思い出を語る会」が開催されるそうです。朝日町では、小中学校4校の式典は日程をずらすと思われます。以前、閉校記念誌の作成について話題になりましたが、記録としても残した方がいいと考えています。令和10年度に予算が出るように、町にお願いしています。

以前、西五百川中学校の閉校時にも予算を10万円とっていたのに、原稿を書いてくれる人がなかなか見つからずに、完成しませんでした。記念誌をつくるのであれば、早めに依頼しておいた方がよいでしょう。

(2)さらに地域を愛する子どもに育てるために

地域の伝統的な行事として「おさいとう」があります。最近は子どもの人数が少なく、以前は子ども会でも人が集まってくれましたが、今は高齢化と稲藁が不足しているため実施が難しくなっているそうです。やめてしまった地区も多いです。夏草のおさいとうは大きかったのですが、文化財である茅葺屋根の佐竹家住宅があるため、あまり大きくしないように言われており、雪がある時は大きめに、雪が少ない時は小さく作るようにしているということでした。このようなおさいとうの話などは興味深く、子どもたちにも教えていただきたいです。西小でも小正月の団子さげの行事はしています。そうした行事等で地域の方のご協力をいただけるとありがたいです。

太郎地区では3年ほど前からアップルマラソンの日に、「世代間交流事業 太郎区民芋煮会」を行い、子どもからお年寄りまでたくさん集まっているそうです。芋煮とゲーム、昔の8ミリの鑑賞などもしていて、役場の地域担当者もきて、にぎやかにやっているということでした。

校外学習で松程堰見学の話が出ましたが、夏草にも三中堰があります。三中堰は、夏草、ハツ沼、船渡の田んぼで利用されている堰で、西小の裏を通っています。田んぼの利用者で水利会をつくっていますが、人数も少なく、草刈りなど維持管理が大変ということでした。小学生向けに門松づくりのワークショップを毎年開催してくださっていますが、参加者は年々減っています。去年で20人ほど。竹を斜めに切って、括るなどの作業がなかなか大変だそうです。

校長や教職員は異動があり、学校にずっといるわけではありません。地域活動推進員はずっといる予定ですし、地域の事情もわかっていると思います。また、教職員よりも地域の方々が地域や学校のこともわかっているので、引き続きこれからも学校運営を助けていただきたいと願っています。



学校研究「自ら学びを求め、共に高め合う子どもの育成」

第2回目の授業研究会を、10月14日(火)に行いました。今回の授業は、6年社会科「戦国の世から天下統一」です。5・6年生は複式学級ですが、理科と社会科はそれぞれの学年で別れ、学年単独での授業を行っています。ですから、6年生2人と担任教諭と、合わせて3人の授業です。

学習課題は「織田信長と豊臣秀吉は、どのように天下統一を果たしたのだろうか。」です。前の時間までにそれぞれ調べたことを発表し、互いに聞き合いながら両武将が行った政策が、天下統一にどのように関係していたかを話し合い、課題に対する考えをまとめる学習でした。互いに聞き合いながら、違いはないか聞き合っていました。中学校の社会科でも歴史学習があります。小学校の段階では、歴史上の人物に興味をもち、歴史学習が好きになってほしいです。そのために、社会的事象を多面的に見ることが大事です。例えば、「太閤検地・刀狩り」は、秀吉にとっては支配基盤を強固にする意味がありましたが、このことは、百姓にとってはどうだったのか、武士の立場からはどうだったのかということです。視点を変えることで、世の中の様子を考えたり、現代との関わりとの中で歴史を学ぶ意味が考えられたりするようになっていきます。私たち教員は、今回の研究会で学んだことを生かし、子どもたちにより確かな学力を身に付けさせるため、授業改善に取り組んでまいります。



令和7年12月の予定



日	曜	朝	校 内 行 事	給 食	下校時刻					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	ドリル学習		○	15:00					
2	火	読書	町1・2年合同学習(宮宿小)	○	15:00		15:45			
3	水	朝会	町3年合同学習(大谷小) 委員会活動	○	15:00			15:45		
4	木	体力づくり		○	15:00			15:45		
5	金	学級	町5・6年合同性教育(大谷小)	○	14:00		15:00			
6	土									
7	日									
8	月	ドリル学習	職員会議 卒業式検討委員会 心を育む給食週間(～12日)	○	15:00					
9	火	読書	朝日中学校新入生オリエンテーション	○	15:00		15:45			
10	水	全校朝会	給食感謝の会	○	15:00					
11	木	体力づくり		○	15:00			15:45		
12	金	学級		○	14:00		15:00			
13	土									
14	日									
15	月	ドリル学習		○	15:00					
16	火	読み聞かせ	ぶなの実読み聞かせ	○	15:00		15:45			
17	水	通学班会	通学班会 経営改善指導部会	○	15:00					
18	木	体力づくり	1・2年ALT授業	○	15:00			15:45		
19	金	学級	6年租税教室	○	14:00		15:00			
20	土									
21	日									
22	月	ドリル学習		○	15:00					
23	火	読書		○	15:00		15:45			
24	水	式	2学期終業式 経営改善会議	○	13:30					
25	木		年末年始休業(12/25～1/7)							
26	金		諸帳簿提出							
27	土									
28	日									
29	月		閉庁							
30	火		閉庁							
31	水		閉庁							